

令和7年度 我孫子市平和事業

広島派遣報告書



千葉県我孫子市

目 次

■我孫子市の平和都市宣言と平和事業	3
平和都市宣言	4
平和の記念碑	5
我孫子市平和のうた「願いを込めて～PEACE FOREVER～」	6
■被爆地への中学生派遣事業	7
派遣の目的	7
派遣内容	7
派遣人数	7
令和7（2025）年度の派遣事業	8
■広島派遣報告	12
事前説明会 事前勉強会等	15
1日目（8月5日）	17
2日目（8月6日）	21
3日目（8月7日）	27
我孫子市平和祈念式典	30
■わたしたちの平和宣言	35
我孫子中学校	36
湖北中学校	37
布佐中学校	38
湖北台中学校	39
久寺家中学校	40
白山中学校	41
■令和7年度 平和事業の記録	42
被爆80周年 我孫子市平和祈念式典	43
あびこ平和の日 ～伝える・祈る・つなぐ～	46
平和の集い～我孫子から平和を願う～	47
広島・長崎派遣中学生リレー講座「未来を生きる子どもたちへ」	52
■平和祈念文集	59
我孫子中学校 工藤 希咲	60
我孫子中学校 佐藤 愛純	62
我孫子中学校 岡田 慎司	64
湖北中学校 佐々木 優真	66
湖北中学校 東 煌梨	68
湖北中学校 宮田 夏帆	70

布佐中学校	津原 霞蓮	72
布佐中学校	藺田 英治	74
湖北台中学校	船本 歩志	76
湖北台中学校	菅原 颯太	78
湖北台中学校	福野 琴美	80
久寺家中学校	中川 大誠	82
久寺家中学校	滝沢 權叶	84
白山中学校	水木 結菜	86
白山中学校	肥沼 さや	88

■参考資料

- ・令和7年広島平和記念式典における平和宣言、平和への誓い
- ・令和7年長崎平和祈念式典における平和宣言、平和への誓い

■我孫子市の平和都市宣言と平和事業

我孫子市は、昭和60(1985)年12月3日に「平和都市」を宣言し、翌年には、被爆した旧広島市庁舎の側壁と敷石を一部に用いて、手賀沼公園内に「平和の記念碑」を建立しました。毎年8月には、我孫子市原爆被爆者の会とともに平和祈念式典を開催してきたほか、戦後50年、60年、65年、70年、75年の節目の年には記念事業を実施しています。

その間、戦争や原爆の体験者の高齢化は進み、その恐ろしさや悲惨さを直接伝えることのできる方は年々少なくなってきました。そのため、市では、戦後60年にあたる平成17(2005)年から、被爆地への中学生派遣事業をスタートし、被爆の実相や平和の尊さを次の世代に伝えていく取組みを始めました。

また、平成20(2008)年に「我孫子市平和事業推進条例」を制定し、我孫子市平和事業推進市民会議を設置して、市民とともに平和事業に取り組んでいます。さらに、平成24(2012)年には、広島・長崎両市から譲り受けた被爆アオギリ・クスノキⅡ世の苗木を手賀沼公園に植樹しました。

平成27(2015)年には、戦後70年・我孫子市平和都市宣言30年記念平和事業として、毎年行っている平和事業を拡大して実施しました。8月には、広島平和記念公園の「平和の灯」から火を譲り受け、手賀沼公園の平和の記念碑そばに設置した「平和の灯」にその火を灯し、核兵器がこの世界からなくなるまで常時灯し続けることとしました。また、12月には、広島の「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんが病床で折った折り鶴「禎子鶴」が、首都圏では初めて、国内では5番目に、遺族から市に寄贈されました。禎子鶴は、生涯学習センター「アビスタ」に常設展示しています。

さらに、この年、これまでに広島や長崎に派遣された経験をもつ歴代の派遣中学生(平成27年度時点では、高校生・大学生)が、自分たちの派遣体験を次の世代に伝えていこうという思いで、「広島・長崎派遣中学生リレー講座～未来を生きる子どもたちへ～」を企画しました。そして、自らが講師となって市内小学校全13校を訪問し、小学6年生向けに、平和の大切さを伝える授業を行い、令和7(2025)年度末までに約10,300人の児童が受講してきました。

令和7年度の派遣中学生も、小学6年生のときに「リレー講座」を受けました。そして派遣から帰ってきたあとは、自らが講師の立場でリレー講座に参加し、派遣で学んだことや平和への思いを後輩たちに伝えました。

今後も我孫子市は、平和都市宣言のもと、市民の皆さんとともに平和事業に取り組んでいきます。

平和都市宣言

平 和 都 市 宣 言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかしながら、今日なお世界の動きは、核戦争の危機をはらみ、誠に憂慮にたえない。

わが国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。

我孫子市は市民の生命と安全を守るため、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、その廃絶を求め、ここに平和都市を宣言する。

昭和60年12月3日 我孫子市

平和の記念碑

記念碑は、広島平和記念公園の原爆慰霊碑をモデルにしたハニワ型のミカゲ石（高さ1.9m、幅2.2m、奥行0.6m）で、その下に被爆した広島市の旧市庁舎の側壁と敷石各1つずつを黒ミカゲ石の台座の上に配しています。

平和の記念碑

碑文

街は静かな朝をむかえていた。

昭和二十年八月六日 午前八時十五分

人類最初の原子爆弾は広島市に投下された。

鋭い閃光を放ち爆発した原子爆弾は巨大な

火の玉と化し熱線と爆風をこの街にたたきつけた。

大人も子どもも街と共に消え失せた。

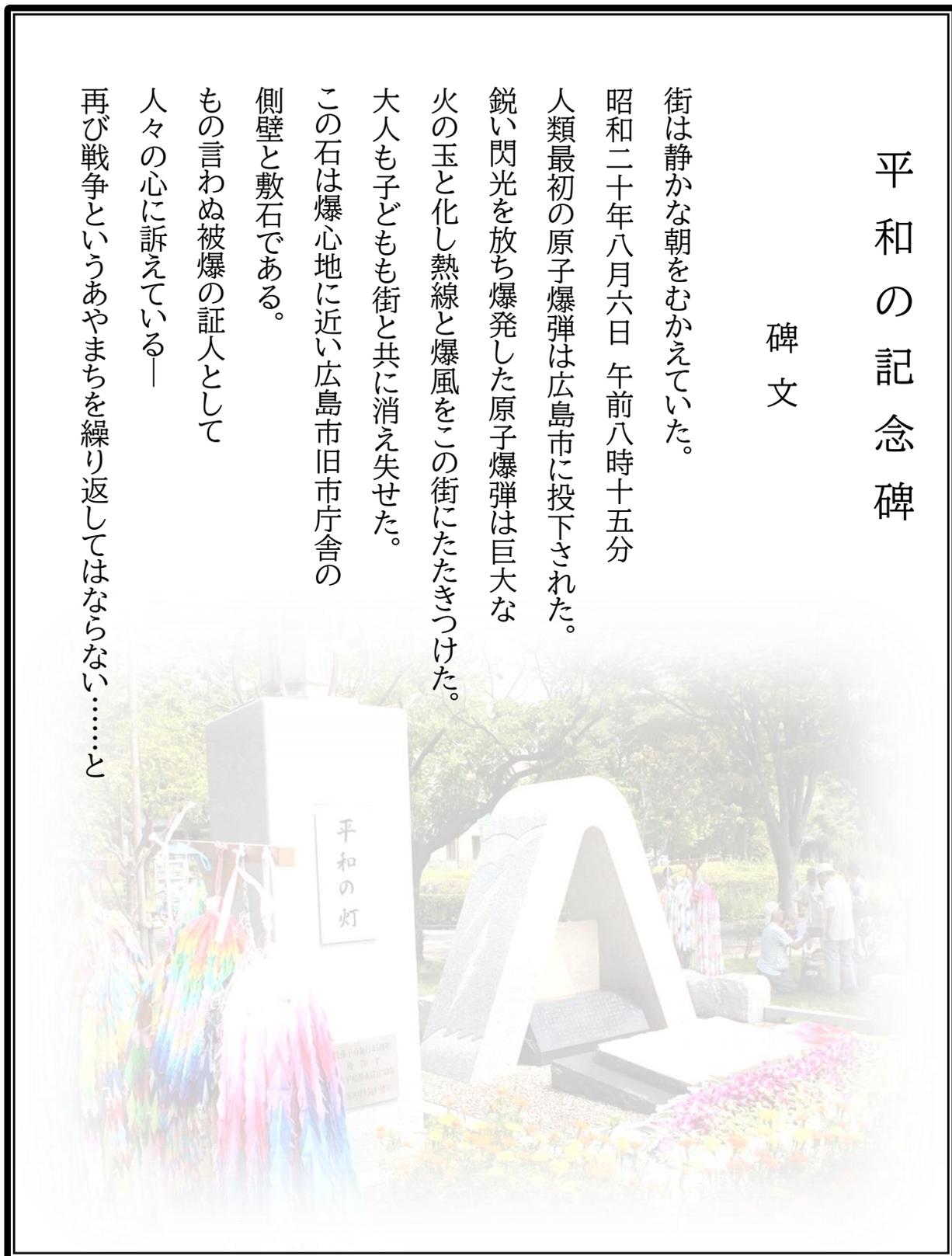
この石は爆心地に近い広島市旧市庁舎の

側壁と敷石である。

もの言わぬ被爆の証人として

人々の心に訴えている――

再び戦争というあやまちを繰り返してはならない……と



我孫子市平和のうた「願いを込めて～PEACE FOREVER～」

戦後80年・我孫子市平和都市宣言40年記念事業として、我孫子市平和事業推進市民会議で歌の制作を企画しました。平和は一人で守ることができるものではなく、思いを次の世代へ受け継いでいくことで守られるものだという気持ちを歌詞に込め、広島平和記念公園に設置された「原爆の子の像」のモデルとして知られる佐々木禎子さんの甥で、ミュージシャンでもある佐々木祐滋氏に作曲をしていただき、我孫子市の平和のうたが令和7年に完成しました。

願 い を 込 め て ～ P E A C E F O R E V E R ～

作詞 我孫子市平和事業推進市民会議

作曲 佐々木 祐滋

編曲 石井 裕介

たいせつ 大切にしたいもの あなたの^{えがお}笑顔 ^{しん}信じる心 ^{こころ}感謝の^{きもち}気持ち
みんなとやりたいこと 手を^て繋ぐこと ^{ゆめ}夢を見ること ^{うた}歌い^つ継ぐこと
^{ぼく}僕らの^{こえ}声が^{せかい}世界を^か変える ^{つな}繋いでいこう ^{へいわ}平和の^{ぼん}バトン
^{えがお}笑顔の^{たね}種を^ままこう ^{えがお}笑顔の^{はな}花を^さ咲かせよう
^{へいわ}平和の^き木が^か枯れないように ^{まも}守り^{つづ}続けよう
P E A C E F O R E V E R ^{ねが}願いを^こ込めて

^{わす}忘れ^{きおく}ちゃい^ひけ^{なみだ}ない^{にく}記憶 ^ああの^{なみだ}日の^{なみだ}涙 ^{にく}憎^あしみ^ああい ^あ争^あった^あこと
みんな^{はな}で^あできる^{おも}こと ^{はな}話^あし^{はな}合^あう^{はな}こと ^{おも}思^あいや^ある^あこと ^{はな}離^あれ^あない^あこと
^{わたしたち}私^て達の^{みらい}手^{つく}で ^{つな}未^{つな}来^{つな}を^{つな}創^{つな}る ^{へいわ}繋^{へいわ}いで^{へいわ}い^{へいわ}こう ^{へいわ}平^{へいわ}和^{へいわ}の^{へいわ}リ^{へいわ}レ^{へいわ}ー
^{きら}煌^{ほしぞら}め^{みなも}く^{とも}星^{とうろう}空 ^{あゆ}水^{あゆ}面^{あゆ}に^{あゆ}灯^{あゆ}る^{あゆ}灯^{あゆ}籠^{あゆ}
^{へいわ}平^{へいわ}和^{へいわ}の^{あゆ}火^{あゆ}を^{あゆ}絶^{あゆ}や^{あゆ}さ^{あゆ}ぬ^{あゆ}よう^{あゆ}に ^{あゆ}歩^{あゆ}み^{あゆ}続^{あゆ}け^{あゆ}よう
P E A C E F O R E V E R ^{ねが}願^こい^こを^こ込^こめ^こて

^{えがお}笑顔の^{たね}種を^ままこう ^{えがお}笑顔の^{はな}花を^さ咲かせよう
^{へいわ}平和の^き木が^か枯れないように ^{まも}守り^{つづ}続けよう
P E A C E F O R E V E R ^{ねが}願^こい^こを^こ込^こめ^こて

■被爆地への中学生派遣事業

派遣の目的

- ・ 被爆地である広島や長崎で、式典への参列や、原爆関連の資料館や施設の見学などを通じて、戦争や核兵器の恐ろしさ、平和の尊さを知ること。
- ・ 派遣体験を今後の平和に関する学習の糧にするとともに、この体験を活かし、「広島・長崎派遣中学生リレー講座」などに参加することにより、次の世代への継承に貢献してもらうこと。

派遣内容

- ・ 広島平和記念式典、長崎平和祈念式典への参列
- ・ 青少年ピースフォーラム等、全国の若者との交流事業への参加
- ・ 広島市の平和記念公園や平和記念資料館、長崎市の平和公園や原爆資料館などの被爆、戦争、平和関連施設の見学

派遣人数

平成17（2005）年度から平成24（2012）年度までは6名（市立中学校6校から各1名）、平成25（2013）年度からは12名（各中学校2名）を派遣しています。

なお、平成27（2015）年度は、戦後70年・我孫子市平和都市宣言30年の節目の年にあたるため、24名（各中学校4名）を派遣しました。また令和2（2020）年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の中でも、有志を募り9名の派遣を行いました。

そして、戦後80年・我孫子市平和都市宣言40年の節目に合わせて派遣人数を各中学校最大3名まで拡大し、令和6年度は16名、令和7年度は15名を派遣しました。

令和7（2025）年度の派遣事業

令和7年度は市内の中学校全校から各校最大3名まで派遣可能とし、計15名の中学生を広島に派遣しました。また、市の代表として市長・教育長が、引率者として我孫子市平和事業推進市民会議委員1名（元派遣中学生）、市職員4名が同行しました。

● 中学生派遣団

氏名	ふりがな	学校名	学年
工藤 希咲	くどう きさき	我孫子中学校	2
佐藤 愛純	さとう あすみ		2
岡田 慎司	おかだ しんじ		2
佐々木 優真	ささき ゆうま	湖北中学校	2
東 煌梨	ひがし きらり		2
宮田 夏帆	みやた かほ		2
津原 霞蓮	つはら かれん	布佐中学校	2
園田 英治	そのだ えいじ		2
船本 歩志	ふなもと あゆむ	湖北台中学校	2
菅原 颯太	すがわら そうた		2
福野 琴美	ふくの ことみ		2
中川 大誠	なかがわ たいせい	久寺家中学校	2
滝沢 權叶	たきざわ かいと		2
水木 結菜	みずき ゆな	白山中学校	2
肥沼 さや	こえぬま さや		2

● 我孫子市からの参加者

氏名	ふりがな	所属
星野 順一郎	ほしの じゅんいちろう	我孫子市長
丸 智彦	まる のりひこ	我孫子市教育長
稲見 帆夏	いなみ はんな	平和事業推進市民会議
佐藤 友一	さとう ともかず	市教育委員会指導課
吉岡 朋久	よしおか ともひさ	市企画政策課
栗原 卓哉	くりはら たくや	
岡村 優香	おかむら ゆか	

広島派遣3日間の行程

1日目 [8月5日(火)]

<p>7:05 ~7:20</p>	<p>出発式 けやきプラザ前集合</p> 
<p>7:28発 ~12:42着</p>	<p>我孫子駅~(JR常磐線・上野東京ライン)~東京駅~ (JR東海道新幹線のぞみ63号)~広島駅</p>
<p>13:40 ~14:10</p>	<p>原爆ドーム及び平和記念公園内見学</p> 
<p>14:15 ~16:15</p>	<p>平和記念資料館 見学①</p> 
<p>16:15 ~17:15</p>	<p>国立広島原爆死没者追悼平和祈念館及び平和記念公園内見学</p> 
<p>19:45 ~20:30</p>	<p>1日目の振り返り・反省会</p>

2日目 【8月6日（水）】

5 : 45	ホテルロビー集合、出発
8 : 00 ~8:50	<p>平和記念式典への参列</p>  
9 : 00 ~10:30	<p>千羽鶴の奉納、式典参列者へのインタビュー</p>  
10 : 30 ~11:15	<p>レストハウス見学</p> 
13 : 30 ~16:30	<p>平和学習の集いへの参加</p>    
19 : 45 ~20:30	1日の振り返り・反省会

3日目 【8月7日（木）】

7:40	ホテルロビー集合、出発
8:00 ~8:30	<p>多聞院の見学</p>  
9:20 ~11:00	<p>平和記念資料館の見学②</p>  
11:15 ~12:15	<p>本川小学校平和資料館の見学</p>  
15:12 ~21:49	<p>広島駅～（JR山陽新幹線のぞみ170号）～品川駅～ （JR常磐線・上野東京ライン）～我孫子駅</p>
21:50	<p>我孫子に帰着。けやきプラザ前で出迎えてくださったみなさんに、派遣報告とお礼をして解散</p> 